

カラフルな治田小に大变身・見立てアート50th anniv

11月12日(金)に、第75回長野県美術教育研究大会 更埴大会が本校と更埴西中会場で開催されました。全県的に感染状況が落ち着いてはいるものの、職能向上のため県下各地より60名の先生方が私たちの学校に研修にやって来るとあって、受付でサーマルカメラを導入するなど独特な緊張感がありました。低学年を代表して3年1組、高学年を代表して6年1組が、創造力を発揮してくれました。授業の様子、夢中で取り組んだ子どもたちの学習について、よりよい授業づくりについて、貴重なご意見を沢山いただくことができました。*写真は児童玄関ホールで造形活動する3年生。



「持続可能な世界」を実現するためのささやかな活動

11月13日(土)にはPTAの皆様と共に20世紀来の古典的なエコロジー活動である、「資源回収」活動を行いました。日の出前に始めた桑原地区の回収作業を終え、引き続き稲荷山地区の回収作業のために学校の玄関前にパッカー車が横付けされました。地域の皆様より供出いただいた資源物、再生紙の元となる大量の雑誌やチラシ、新聞紙などが山積みとなりました。未来を託す子どもたちのために、私たちにできる「持続可能な世界を実現するための取り組み」の一つと言えるでしょう。*昨年に引き続きコロナ感染拡大防止のため子どもたちの参加はありませんでした。



開校 50 周年プロジェクト。校舎ライトアップ。そして棚田へ

「信州さらしな田毎の月プロジェクト」への関わりについては、学校日より 9 月号でもご報告いたしました。その続編として児童提案（チームはたしプロジェクト）による「校舎ライトアップイベント」を経て、ついに「棚田ライトアップイベント」（11/20～3/19）のためのペット蛍の設置が実行されました。本校の児童が作ったペット蛍は 5 年生が代表参加して、一枚一枚の田んぼの真ん中に設置されました。棚田に映る「月」を模して、田んぼの真ん中が発光する配置になっています。ふるさとの夜景がいつもとは違って見えるかもしれませんね。 *左後方に治田小が見えます。



ついに修学旅行が実現！上越・中越への一泊二日の旅

感染状況に注視しつつ、先月末に児童会企画、兄弟姉妹学年交流イベント「ふれあいパーク」を成し遂げた 6 年生。待ちに待った修学旅行がついに実現しました。当初予定していた 9/15-16 は第 5 波と重なってキャンセル、2 か月先の 11/15-16 へと延期したため、子どもたちは実現性について先の見えない不安の中にいたと思います。6 年生は、昨年大池でのキャンプも行えなかったので「泊を伴う行事」を初めて体験したことになります。マスク着用で大型バス 3 台に分乗というコロナ禍での旅でしたが、よい旅が出来て良かったです。

治田小金管バンド各種大会報告

実りの秋に開催された各種大会に参加した治田小金管バンド。無観客、テープ音源審査、録画審査と、昨年来続く「コロナ禍」での大会開催形式が採用されるなか、今年もまた最高の表現を披露してくれました。以下の賞をいただきましたので報告いたします。

- ・第 57 回 SBC こども音楽コンクール長野大会 (9/25) : 優秀奨励賞 (かんでんぱぱ賞)
- ・第 27 回日本管楽合奏コンテスト予選審査会 (10/2) : 優秀賞
- ・第 25 回東海小学生バンドフェスティバル (10/10) : 金賞 (実際は岐阜県で行われる予定でした)

